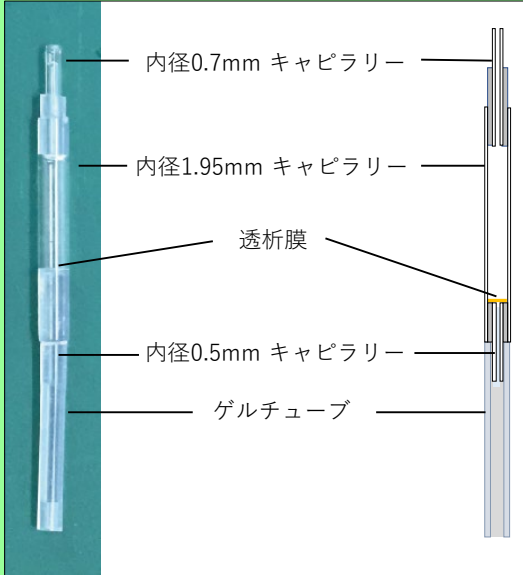


C-Tube LCDM



透析・拡散法による大型タンパク質結晶作製容器

2種類のキャピラリー（石英/ガラス） x 3種類の透析膜（RC/CE/PES）から選べます

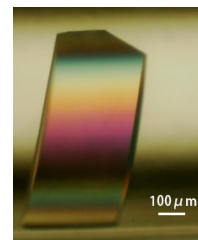
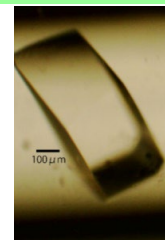
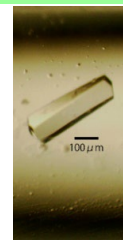


	商品コード	品名/仕様	入数	希望小売価格 (税抜)
石英製	RC膜 CRT803Q2RC1020-2	C-Tube-LCDM 大型石英製結晶容器 (ゲルチューブ/RC再生セルロース膜MWCO 6-8kD)	2個	¥21,000
	CE膜 CRT803Q2CE1020-2	C-Tube-LCDM 大型石英製結晶容器 (ゲルチューブ/CEセルロース・エステル膜MWCO 1kD)	2個	¥29,400
	PES膜 CRT803Q2PES1020-2	C-Tube-LCDM 大型石英製結晶容器 (ゲルチューブ/PESポリエーテルスルホン膜MWCO 10kD)	2個	¥21,000
ガラス製	RC膜 CRT804GRC1020-2	C-Tube-LCDM 大型ガラス製結晶容器 (ゲルチューブ/RC再生セルロース膜MWCO 6-8kD)	2個	¥17,700
	CE膜 CRT804GCE1020-2	C-Tube-LCDM 大型ガラス製結晶容器 (ゲルチューブ/CEセルロース・エステル膜MWCO 1kD)	2個	¥24,700
	PES膜 CRT804GPES1020-2	C-Tube-LCDM 大型ガラス製結晶容器 (ゲルチューブ/PESポリエーテルスルホン膜MWCO 10kD)	2個	¥17,700

※「宇宙規格品」の詳細はお問合せください。

『C-Tube LCDM』を用いた実験手順例

- C-Tube LCDMを5% PEG 4000, 0.4 M NaCl, 50 mM acetate buffer pH 4.5に事前浸漬
- タンパク質試料溶液：25 mg/ml lysozyme, 5% PEG 4000, 50 mM acetate buffer pH 4.5をC-Tube LCDMに充填
- リザーバ溶液①：5% PEG 4000, 0.4 M NaCl, 50 mM acetate buffer pH 4.5として結晶化開始小さな単結晶ができる（図1）
- リザーバ溶液②：5% PEG 4000, 0.7 M NaCl, 50 mM acetate buffer pH 4.5に入れ替えて、結晶を成長させる（図2）
- リザーバ溶液③：25% PEG 4000, 0.7 M NaCl, 50 mM acetate buffer pH 4.5に入れ替えてさらに結晶を成長させる。あわせて回折分解能の向上が期待できる（図3）



リゾチーム結晶 X線回折実験結果

Diffraction source	Aichi SR BL251
Wave length (Å)	1.12
Camera system	ADSC315r
Space group	P43 21 2
Unit-cell parameters (Å, °)	79.1 79.1 38.2 90.0 90.0 90.0
Average mosaicity (°)	0.07
Resolution range (Å)	39.54 - 1.39 (1.42 - 1.39)
Completeness (%)	99.9 (100)
Rmerge	0.028 (0.569)
<I/σ(I)>	41.4 (4.0)
Mn(I) half-set correlation CC(1/2)	1.00 (0.923)

『C-Tube LCDM』の5大特長

1

透析・拡散法

リザーバ溶液との浸透圧差が緩和な透析法を実現できます。容器外へのタンパク質の拡散がありません。

タンパク質試料量

30μLです。30mg/mLの試料で、Vm=2.2Å³/Dの場合、1.2mm³の結晶1個程度程度の容量です。

2

結晶化条件

溶液中の拡散現象を考慮し、かつ核形成確率を極力抑えた設定が必要です。条件の最適化方法は是非ご相談ください。

5

3

簡単充填

ゲルチューブ（ゲル充填済みのシリコンチューブ）が予め接続されています。簡単に充填、セットアップできます。

長期安定性・省スペース

付属のゲル浸漬用袋、結晶化用袋をご利用いただくことで、わずかなスペースで結晶化ができます。また、生成した結晶はキャピラリー中では長期間安定です。

4

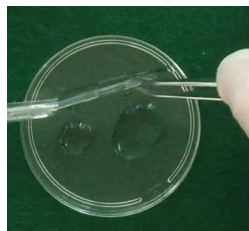


『C-Tube LCDM』の充填方法

■ゲル浸漬溶液に浸漬 ■C-Tube LCDMの取出し



C-Tube LCDMを、ゲル側を下にしてゲル浸漬溶液に浸漬します。数日放置し、ゲル浸漬溶液をゲルに拡散させます。



C-Tube LCDMをゲル浸漬溶液から取出します。

■タンパク質試料充填



ゲルローディングチップでC-Tube LCDM内に、タンパク質試料を充填し、キャピラリー上端を、C-Capで封止します。

■充填完了

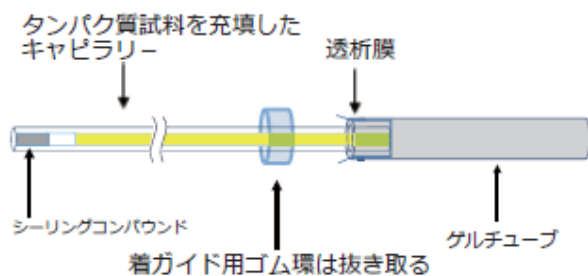


👉 充填動画はこちらからどうぞ！

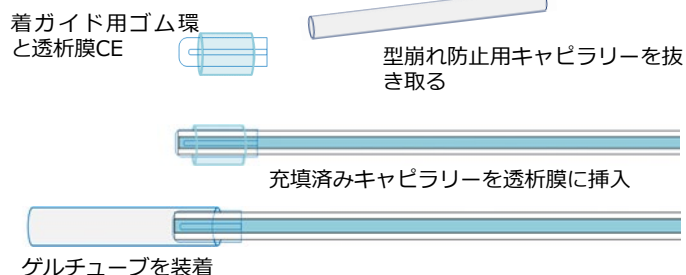


関連商品『C-Chip-DM』 ゲルチューブ対応透析チップ

C-Chip-DM 15 RCと使い方



C-Chip-DM 15 CEと使い方



■ 特長

1. 外径1.2mmのキャピラリーに簡単に装着し、透析法を実現します。
2. RC膜、CE膜の2種があります。
3. ゲルチューブを介して結晶化試薬がキャピラリー内を拡散するため、緩和な結晶化条件が実現できます。
4. 少ない試料量で透析法による結晶化が可能です。

■ CRT232-RC1020-6

C-Chip-DM15 RC/6個入

¥6,000(税抜価格)

■ CRT232-CE1020-6

C-Chip-DM15 CE/6個入

¥6,000(税抜価格)

本商品は特許第6473788号によるものです。

本商品の一部は国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構から請負った大型結晶容器改良検討業務の成果の一部を利用しています。

製造元・お問い合わせ先はこちら

株式会社コンフォーカルサイエンス

〒158-0081

東京都世田谷区深沢五丁目14番15号

TEL 03-3864-6606 FAX 03-6411-1561 MAIL: info@confsci.co.jp

インターネットの情報もご覧ください

<http://www.confsci.co.jp/>



販売代理店

株式会社池田理化

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町1-8-6 神田KSビル

TEL : 03 (5256) 1830 FAX : 03 (5256) 1899

MAIL : seiyaku@ikedarika.co.jp